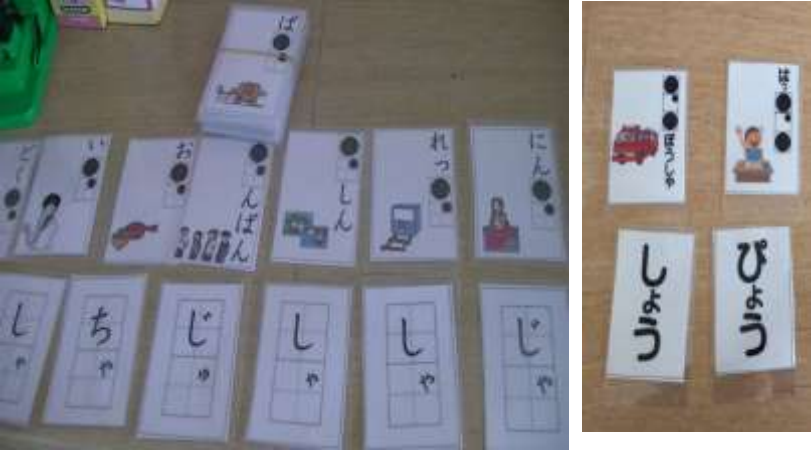
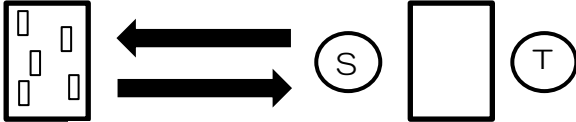


大項目	読むこと
小項目	特殊音節の読み
タイトル (教材名)	拗音・拗長音マッチングゲーム (かるた)
目的 身につけてほしい力	絵カードを見て拗音・拗長音を適切に発音することができる。 拗音・拗長音の音と文字を一致させることができる。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	
教材の使用方法	<ol style="list-style-type: none"> ① 指導者から絵カードを受け取り、その絵カードを見て拗音・拗長音を適切に発音する。 ② 受け取った絵カードで「●」となっている特殊音節のカードを、少し離れた別のテーブル(「しゃ」「しょう」などのカードがかかるたのように散らばって置かれている)まで探しに行く。その際、受け取った絵カードは別のテーブルまで持って行く。 ③ 見つけた特殊音節の文字カードと、はじめに受け取った絵カードを指導者のところに持って行く。 ④ 指導者は、絵カードと文字カードのペアが合っているか確認する。 ⑤ 合っていれば、指導者から新しい絵カードをもらい、探しに行く。 ⑥ 指導者は、最後にペアで何枚たまったかを提示する。 <div style="text-align: center;">  <p>文字カードを取りに行く</p> </div>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム的な要素もあるので、児童生徒達が楽しんで活動に取り組む姿が見られた。 ・体を動かす、カードを探す、といった体験的な活動を行うことで、学習内容の定着が図りやすい。 ・参考文献 「多層指導モデル MIM 読みのアセスメント・指導パッケージ」(海津亜希子、学研、2010年)